

【鍼灸治療最終日～転帰】3日間

【評価】評価に対し理解されなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)右大腿部痛：有効

【治療経過】

9月17日

10:00 お腹は痛い事ないです。(どういう時に痛みますか?)
別に…下腹部が痛い。

12:00 数口食べました。(ムカつきは?)今は大丈夫です。

15:30 本日排便ないが、腹部緊満なし。

15:40 【娘】私が見ていると動いた後に嘔吐があります。水分もあまりとっていないようです。痛いのは入院時よりマシのようです。

レスキュー使用：5回

9月18日

6:30 お尻が痛い。この変。このままでおるわ。仙骨部に痛み。
キリキリした痛みがある (NRS=10)

9:00 酸化マグネシウムとピコスルファート使用にて排便コントロール。午前中にポータブルトイレ3回移動され、少量ずつ2回、水様便多量1回。排泄後に右鼠径部周辺の痛みを訴える。

17:30 鍼灸治療1診目

足が痛い。(右股関節外側を擦る)じっとしていたら痛くないけど、動いたらちよっとね。ムカつき、吐き気はない。

脈診：72回/分、脾肝渋、腎やや渋、細

舌診：淡白、黄膩苔、乾燥

触診：左胸脇部緊張、全体的に表面軟弱深部緊張。右内庭圧痛・色素沈着、右外内庭圧痛、右俠溪圧痛、四肢に皮下出血多くみられる。行間発汗・圧痛、左三陰交圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪、左三陰交、左太溪、行間

<円皮鍼>右俠溪

21:00 痛いと思ってたけど、トイレ行っても大丈夫でした

9月19日

5:30 痛いんは痛いんです。やっぱり足が…腸蠕動音亢進気味

13:30 腹部不快感あり。

14:30 鍼灸治療2診目

痛い事はないよ。

脈診：81回/分、腎・肝渋、細

舌診：淡白、黄膩苔

☆治療部位

<毫鍼>右内庭、右外内庭、俠溪、左太白、左三陰交、行間

<円皮鍼>右俠溪

レスキュー使用：3回

9月20日

10:00 (どうですか?)えらいね…

(体ですか?お腹ですか?)だるい…お腹は…

(痛みはないの?)痛い…(どこが?)足…

(じっとしていても?)ううん。全身の訴えあるが

疼痛の訴えはない。

9月21日

8:30 7時に右上腹部の痛みを訴える。

フェントステープ1mgを貼付。

11:30 3回トイレにいったことで、右股関節痛を訴える。

13:30 【娘】午前中はしんどそうですけど、お昼から楽そうになって。本人が苦しんでいるのは見ているのも辛いです。娘に精神的疲労がみられる。

レスキュー使用：3回

9月22日

18:30 【娘】ご飯がおいしいってたくさん食べたんです。この人の好物だったし。さっきはトイレに行けたって喜んでた。

21:30 不眠に強い不安がある様子

レスキュー使用：4回

9月23日

11:00 便がしたい。便少量と排尿あり。

レスキュー使用：3回

9月24日

15:00 よう寝とった。動いたら、ちよっと痛いな。

17:30 鍼灸治療3診目

胸が辛いことも、足も痛い事もないです。

脈診：75回/分

触診：両下肢浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右陰谷

<円皮鍼>右行間、右内庭、右外内庭

レスキュー使用：2回

9月25日

13:30 心窩部痛を訴える (NRS=8)

16:00 鍼灸治療 4 診目

【娘】 さっき、吐いてしまったんです。

【本人】 うん。わざわざ来てくれてありがとう。

脈診：洪

触診：左神門軟弱、右内関緊張

☆治療部位

<円皮鍼>左神門、右内関

レスキュー使用：4回

9月26日

16:30 鍼灸治療 5 診目

さっきお風呂に入れてもらったし、綺麗にもらって…
はい、気持ちよくなってウトウトしてました。(胸がしんど
い事は?) なかったです。

脈診：脾滑

舌診：淡白、薄白苔

☆治療部位

<円皮鍼>右行間、内庭、外内庭、右侠溪

レスキュー使用：0回

9月27日

9:30 夜勤帯にご自身でコールされ、ポータブルトイレ使用し排
泄。泥状便少量あり。

15:30 呼吸苦しいです。痛いところないです。

(NRS=) 5くらいかな?

16:30 鍼灸治療 6 診目

しんどい。胸がね、しんどい。吐きそうではない。浮腫に
よる下腿の痛みあり。

☆治療部位

<円皮鍼>右気戸、曲泉

レスキュー使用：3回

9月28日

11:30 ガス出てます。朝・夕→ごはん。昼→うどんに変更する。

14:30 動いた時に太腿が痛いです (R>L)

16:00 右股関節痛あり。昼食後にアセトアミノフェン内服。

9月29日

8:30 今日は美味しくご飯頂きました。3時、6時、7時に水様便
あり。腸蠕動音亢進気味。

レスキュー使用：1回

9月30日

0:00 あーいた。痛い。足が痛い。

8:30 2時、3時、8時に泥状便あり。

レスキュー使用：0回

10月1日

7:30 今朝は全部食べられました。昨日はお腹が痛かった。
お通じ出たら治りました。

15:30 ちょっとは良いです。胃の痛みはだいぶマシ。

16:30 鍼灸治療 7 診目

今はもう大丈夫。じっとしていたら痛くないんですが、リ
ハビリとかで動かしたraitたい。(どの辺ですか?)
うーん…この辺 (右鼠径部内側)

脈診：脾滑、肝無力、腎微弦

☆治療部位

<e-Q>足三里×3回、太溪×5回

<円皮鍼>右神門、膝関、右陷谷、右外陷谷、右臨泣

レスキュー使用：0回

10月2日

7:30 こんな便が沢山出るのはかなん。この下剤も飲むの怖い。
ちょっとやめたらあかんか? 深夜帯に排便8回。

17:00 鍼灸治療 9 診目

嘔吐あり (8~9回/日)。

脈診：虚、脾・腎無力

触診：内関軟弱、外関深部硬結

☆治療部位

<円皮鍼>外関

21:00 ご飯食べなくなかった…。

レスキュー使用：1回

10月3日

10:30 胸が偉い。胸部不快感の訴えあり。

15:30 鍼灸治療 10 診目

今日は眠れました。便は出てません。

脈診：腎無力、細

舌診：淡白、白膩苔、乾燥。下腿浮腫 (R>L)

☆治療部位

<e-Q>右太溪

<円皮鍼>右膝関、右太白、右内庭、右外内庭、右侠溪

21:00 胃液様嘔吐少量あり

レスキュー使用：3回

10月4日

11:00 深夜帯で5回排便あり

13:00 お腹が痛いです。レスキュー使用10分後に症状軽減

16:30 鍼灸治療 11 診目

気持ち悪い感じは治まりました。一日が長いわねー。

脈診：脾・腎微弦

触診：足三里表面軟弱・深部緊張圧痛

☆治療部位

<毫鍼>足三里

<円皮鍼>右膝関、右神門、右内庭、右外内庭、右俠溪

レスキュー使用：1回

10月5日

10:00 しんどいと、ナースコールあり。体位変換で様子を見ていく。軽度入眠後、すっきりしたとのこと。

レスキュー使用：2回

10月6日

15:30 呼吸苦あるも、レスキュー使用せず、酸素投与にて消失。

10月7日

4:30 S状結腸の病変肥厚あり。腸閉塞のリスク高い状態が続いている。

12:00 夜がかなんけど昼は大丈夫

レスキュー使用：4回

10月8日

2時、3時、5:45に呼吸苦を訴えられている。

15:30 入眠中のため、鍼灸治療中止

20:00 ああ、えらい。しんどい。もう死なせてほしい。

レスキュー使用：8回

10月9日

9:30 フェントステープ1mg→2mgに変更、フランドルテープ40mg追加する。

17:00 鍼灸治療12診目

あー鍼？なに？お腹しんどい事もない…。

☆治療部位

<鍹鍼>八風穴、左太溪

18:00 夕食を自己にて食べている

10月10日

11:00 あーえらい。えらい。

16:00 ああーううー。

身の置き所のなさがせん妄の悪化からくるものか、癌性疼痛からのものか不明。本日より昼夜逆転をなおすべく、ハロペリドールとクアゼパムを試みる。

18:00 状態悪いため、鍼灸治療中止

レスキュー使用：6回

10月11日

10:00 はい。痛くないです。えらくないです。

22:00 睡眠できず

22:30 同室者の声で覚醒してしまうほど、眠りが浅い。

10月12日

15:30 そばにいる時は苦痛を訴えない。

レスキュー使用：1回

10月13日

15:30 (痛みはないですか?) はい。大丈夫。

レスキュー使用：1回

10月14日

12:30 2~3回咀嚼されるのみで、食されず。口腔内にうどんは残っている。

10月15日

13:30 呼吸促迫、苦痛表情あり。

16:00 声かけにて、開眼するも、すぐにウトウトされる。

10月16日

16:30 声かけするも反応なく、鍼灸治療中止する

22:30 あーあーあー。

10月17日

3:30 コールあり。トイレかと尋ねるも、首を横に振る。寂しいのかと尋ねると寂しいと返答あり。

15:00 鍼灸治療13診目

入眠中であつたが、家人に了解を得られたので施行する

脈診：虚(ほぼ触れず)

触診：足背浮腫、冷えあり

☆治療部位

<鍹鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪、左太溪、百会

10月18日

7:30 意識レベル低下

10月19日

18:30 夕食1割ほど摂取される

レスキュー使用：2回

10月20日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
認知症もあり、印象評価を使用する
- 患者コメント
1診目3時間後：痛いと思ってたけど、トイレ行っても大丈夫でした。
- 家族コメント
医師・看護師には言えない不満や不安を鍼灸師に対し、語られることが多い。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

特記なし

【総括】

本症例は右大腿外側部痛に対して鍼灸治療を行った。その結果、1 診目 3 時間後にトイレに行った際は痛みを訴えることはなかった。また、リハビリによる筋肉痛の痛みと混合が認められたため、明確に大腿外側部痛を訴えていた状態の評価をもとに、有効と診断した。

それ以外の呼吸苦、浮腫に対しては鍼灸治療を行う時間帯には症状がない、ストッキング着用していたため、状態をみることもできなかったため、今回は介入していない。

他方、家人のストレスが非常に強く、治療に行く際には介護に対する不満、医療に対する不満などを涙ながらに鍼灸師に語る事が数回あり、同時に「イライラして患者にあたってしまう」「いつ呼ばれるかとゆっくり眠れない」といった相談を受けた。その際、不眠にはこのツボがいいといった指導を行ったところ、「昨日は朝までゆっくり眠れた」と翌日、感謝された。

これらからも、患者のみならず、介護する側のケアの重要性を示唆するケースであった。

20130019 (NO. 69)

【患者】78 歳、男性

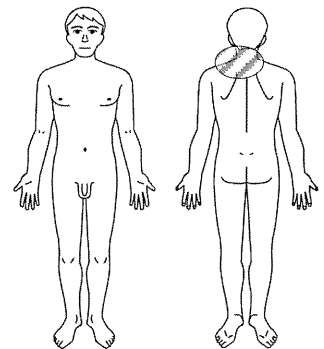
【既往歴】転移性脳腫瘍 (stage III)

【病態】肺癌 (腺癌)

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X-3 年 3 月、CT 下にて生検した結果、腺癌の可能性あり。頭部 MRI でも頭蓋内に転移を疑う像、腎機能障害もあり、化学療法をせず。原発および、転移巣も当初の予想よりも増加のスピードは遅い印象。マーカーは CEA が上昇。画像からの長径 90 mm 程度。(X-1 年/11 では 81 mm)。脳 MRI (X-1 年/5) 右後頭葉の像はなし。精神的不安が強く、一度退院するも、不眠や異常行動が増えたため家族負担が大きく、再入院となった。鍼灸治療を本人が強く希望されたため、不定愁訴に対し介入した。



【服薬状況】

フルニトラゼパム、クロキサゾラム、チアプリド中止。眠前ハロペリドールのみとする

【鍼灸治療目的】

不安からくるものか、精神安定の治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

脈診：肝弦、舌診：暗淡白、白膩苔。触診：右神門軟弱、右内関緊張、右腕骨深部硬結、右肺俞軟弱、左神門陥凹発汗

【弁証】肝血虚、心気虚

【鍼灸介入期間】57 日間

【鍼灸治療回数】4 回/週、27 回

【転帰】退院 (後日再入院 逝去)

【鍼灸治療最終日～転帰】4 日間

【評価】精神的評価は、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 精神安定：不明

【治療経過】

9 月 20 日 せん妄、不眠により家族負担が大きくなり再入院となった。

16:30 鍼灸治療をまた、お願いします。と本人の希望あり。
時折、床やパジャマの模様が動いて見えることも。

9月21日

4:00 ゴミなど漁る行動が認められる。

21:30 吸引チューブ。5本ほど床にばらまかされている。

9月22日

3:30 笑顔であるも、左肩の痛みを訴える。

11:30 痛くないけど、オキシコドン塩酸塩水和物散飲む。

レスキュー使用:3回

9月23日

16:00 落ち着いてはいるが、以前の本人と違う人格である印象。

レスキュー使用:1回

9月24日

15:30 鍼灸治療をお願いします。痛みはオキシコドン塩酸塩水和物散飲んだら治りますが…。

レスキュー使用:1回

9月25日

1:00 準夜帯2回廊下を歩行されている

17:00 鍼灸治療1診目

【妻】入院前から「鍼灸治療は受けるんや」って言っていました。

【本人】左のこことこ(肩甲間部)が気になる。あんな、子供が便秘しとるんや、どこのツボ使ったらええんや?
(子供ではなく自身のことかも)

脈診:肝弦

舌診:暗淡白、白膩苔。

触診:右神門軟弱、右内関緊張、右腕骨深部硬結、右肺俞軟弱、
左神門陥凹発汗

☆治療部位

<鍣鍼>百会

<円皮鍼>右腕骨、右神門、右内関、右肺俞、左心俞、右肩井

22:30 床に花瓶を落とし、びしょぬれ状態を見つける。

レスキュー使用:0回

9月26日

9:00 便がでない。浣腸施行により、普通便多量に。

17:30 鍼灸治療2診目

(気になるところはありますか?)発語なく、右頸部、右肩を指さす。

脈診:腎無力

☆治療部位

<鍣鍼>右肩井、右肺俞、左心俞

<円皮鍼>右肩井、右肺俞、右神門、太溪

レスキュー使用:0回

9月27日

10:30 夜間ややせん妄による行動が多い

12:30 ラウンジに変な男がいて腕を掴まれたと興奮気味に話す

16:30 鍼灸治療3診目

(肩の痛みはどうですか?)→沈黙

(よく眠れましたか?)→「シー」と隣で人が聞いているからと口に人差し指をあてる。

脈診:脾渋、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>右三陰交、左神門、外関、右肩井、右肺俞

レスキュー使用:0回

9月28日

16:30 夕方にかけて興奮状態になる。

レスキュー使用:1回

9月29日 せん妄によるものか不穏な行動が増えている。

9月30日

15:30 昼夜のリズムをつくるクアゼパムとゾピクロン使用。フルニトラゼパムは中止する。

レスキュー使用:1回

10月1日

1:30 訪室すると全裸で室内に立たれ、シーツに失禁あり。

3:00 全裸状態で廊下にいる。更衣を促すも全力で抵抗、腕をつかむなどする。

4:30 全裸でウロウロされている。

10:30 フルニトラゼパム、クロキサゾラム、チアプリド中止。眠前ハロペリドールのみとする。

17:30 鍼灸治療4診目

ベッドに横になるよう促すも、スムーズにはできず、何度か声かけで従われる。

☆治療部位

<毫鍼>上巨虚、三陰交、左足三里

10月2日

0:00 日中覚醒されているも夜間になっても休まれる様子はない。

9:00 夜間は昨日に比べてやや改善するも、以前不穏行動あり。

17:00 鍼灸治療5診目

声かけすると軽く首を動かす程度で発語なし。

脈診:腎無力

☆治療部位

<円皮鍼>後溪、行間、右太溪

19:30 訪室すると、入眠中

20:30 床に放尿されている

10月3日

5:30 下肢何も履かず廊下を歩いている。その後も眠る様子ない

14:00 夕眠前にハロペリドールを行う

16:00 鍼灸治療6診目
発語なし。

脈診：腎弦、肝滑

☆治療部位
 <毫鍼>右足三里、右太溪、左三陰交、行間
 <鍤鍼>百会
 <円皮鍼>左神門、左外関

23:30 室内ゴソゴソ落ち着きなし
レスキュー使用：2回

10月4日

9:30 昨夜から未明にかけて、以前より落ち着いている？

16:00 鍼灸治療7診目
入眠中であるが、施行する。

脈診：肝弦、腎微弦、細

触診：右太溪皮膚乾燥・陥凹、足三里表面緊張、右太衝表面軟弱・深部緊張

☆治療部位
 <毫鍼>右太溪、左三陰交、太衝、右足三里、右地五会
 <円皮鍼>右神門、行間、右太溪

20:30 詰め所にて、医師を鉛筆で刺そうとした。パソコンのマウスを引っ張って切断する。

23:00 看護師を引掻くなどされる

10月5日

23:00 シーツをすべて外し、パジャマを何度も着替える。

10月6日

5:30 リズムが整ってきたのか落ち着いてきている

19:30 気持ち悪くない。でも、食べません。夕食を拒否
レスキュー使用：1回

10月7日

10:30 夜間の興奮もだいぶ落ち着いてきている

15:00 身体的、精神的ストレスがある様子。
レスキュー使用：1回

10月8日

15:00 鍼灸治療8診目
指示にスムーズに従われる。

脈診：弦、腎無力

触診：右太溪軟弱・陥凹、左後溪軟弱、左三陰交緊張、右足三里～上巨虚緊張

☆治療部位
 <毫鍼>右上巨虚、右太溪、左三陰交、左腕骨
 <鍤鍼>腕骨
 <円皮鍼>右太溪、左後溪

15:30 背部痛を訴えられる。

21:30 以降、左胸部痛を何度か訴える
レスキュー使用：7回

10月9日

17:00 鍼灸治療9診目
声をかけると笑みを見せられる

脈診：93回/分、弦、肝実、腎無力

☆治療部位
 <毫鍼>右上巨虚、左足三里、左地五会、太溪、右太衝、外関、右合谷 ※鍼灸治療中、腸蠕動音あり
レスキュー使用：1回

10月10日

11:00 浣腸施行。普通便あり

18:00 鍼灸治療10診目
いつもお世話になってます。一礼してベッドに横になる

脈診：肝弦、腎無力

触診：右足三里緊張、太溪軟弱、右太衝深部緊張

☆治療部位
 <毫鍼>右足三里、太溪、右太衝、左侠溪、右外関
レスキュー使用：3回

10月11日

6:30 本を破いたりされている

16:30 鍼灸治療11診目
右肩前面と左肩後面を擦りながら痛みを訴える。

脈診：肝腎弦、細

☆治療部位
 <毫鍼>右上巨虚、太溪、左三陰交、行間、左陰谷、左外関
レスキュー使用：4回

10月12日

19:30 左胸部を触られている。
レスキュー使用：3回

10月13日

1:00 廊下に出ているが興奮上大ではない

11:00 左頸部、リンパ腫大を認める。
レスキュー使用：4回

10月14日

21:30 怖い!!室内で騒いでいる。

レスキュー使用:6回

10月15日

4:30 喉に違和感と痛みを訴える。

17:30 鍼灸治療 12 診目

肩の動作時痛を訴えるが、鍼灸治療後は消失。

☆治療部位

<鍹鍼>右太衝、右行間

<円皮鍼>左魚際、左外魚際、左二間、左中渚、神門、左公孫

レスキュー使用:4回

10月16日

15:30 鍼灸治療 13 診目

脈診:84回/分、脾・腎弦。

※治療開始前に「トイレ」と言われる。我慢できませんか?すぐ終わりますと言っても、我慢できないと言われたため、他の患者さんのところを回ると伝え、退室。

15:30 【妻】鍼灸治療中に「トイレ」と言いだし、鍼灸師さんがでていった後、トイレに行くと思ったらガラスに頭をぶつけ始めて、止めに入ったら私の腕を掴んで嘔もうとしたんです。もう、怖くて…。

21:00 眠前にミアンセリン10mg、ハロペリドール使用

10月17日

7:00 詰め所に来て、マウスのコードを引きちぎります。

16:00 鍼灸治療 14 診目

左肩の痛み。鍼灸治療後に鼻のつまりを訴える。

脈診:肝・腎弦

☆治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右太溪

<円皮鍼>左魚際、左外魚際、左外関、左神門、左後溪、右風池

レスキュー使用:3回

10月18日 外泊

10月19日

15:30 日内リズムを作るため、出来る限り昼間は外に散歩させるなど、疲れさせることを考える。

レスキュー使用:4回

10月20日

15:30 的当てゲームをする。時折険しい表情になるが危険行動はない

23:30 会話中、突然怒鳴る。

レスキュー使用:7回

10月21日

14:30 排便処置日に不穏行動が強い印象がある月・水・金と曜日を決めて浣腸を施行。

レスキュー使用:6回

10月22日

14:30 ストレスはお腹がすくこと。

17:30 鍼灸治療 15 診目

肩外側を指さし「痛い」と。

☆治療部位

<円皮鍼>右三角筋下縁、左第3肋間

レスキュー使用:2回

10月23日

10:30 浣腸を険しい表情で拒否される。

17:30 本人希望により鍼灸治療中止

レスキュー使用:4回

10月24日

17:30 鍼灸治療 16 診目

脈診:弦・細

☆治療部位

<鍹鍼>労宮

<円皮鍼>左胸部圧痛点

レスキュー使用:4回

10月25日

7:00 入眠。朝まで起きず。

14:00 浣腸を拒否される。

18:30 鍼灸治療 17 診目

「今日はいい」一度拒絶されるが、手のツボだけ押させてくださいというと、頷かれ手を出される。刺激中は異常行動なく、落ち着いている様子。

☆治療部位

<鍹鍼>労宮

レスキュー使用:3回

10月26日~27日 外出

10月28日

9:30 外泊・外出後は精神状態安定している印象がある。

22:30 蛇!蛇がいる!!自室にて騒いでいる。

10月29日

4:30 「火事や!!」訪室すると室内水浸しであった。

10:00 浣腸を拒否

16:30 鍼灸治療 17 診目

胸部ではなく、左肩背部が痛む

☆治療部位

〈腧鍼〉労宮

〈円皮鍼〉左肩外兪、左内関、左手三里、左腕骨

レスキュー使用：3回

10月30日

14：30 今週に入って食事の摂取量が減少

16：30 鍼灸治療 18 診目

浣腸拒否されるので、鍼灸治療にて整腸を希望する。

脈診：弦、教

触診：腹部緊張、足三里～上巨虚緊張

☆治療部位

〈毫鍼〉右上巨虚、左足三里、三陰交

〈腧鍼〉腹部、労宮

レスキュー使用：3回

10月31日 午前、浣腸を施行するが排便なし

16：00 鍼灸治療 20 診目

痛みなし

☆治療部位

〈腧鍼〉腹部、労宮

〈円皮鍼〉左内関

16：30 色々痛む…。と言われるが、どこが痛いというわけ

ではない。

レスキュー使用：3回

11月1日

10：00 左上腕を擦りながら痛みを訴える。

15：00～11月3日 外泊

11月4日

15：00 【妻】家でも、ずっと横になっていました。

18：00 「豹の子供がいる」と言われているが、落ち着いて過ごされている。

レスキュー使用：1回

11月5日

14：30 腕の痛みは「今は強くない」と。ウィルヒョウ腫大してきている。

17：00 入眠中のため、鍼灸治療中止

レスキュー使用：3回

11月6日

13：30 先日の朝、排便ありと本人から妻に伝えていた。

18：00 入眠中であつたため鍼灸治療中止

11月7日

14：30 排便あつたといわれるが、確認できず。腸蠕動音は聴取。

食事3割可能。入浴時、下着に排便が少量ついていた。

17：30 鍼灸治療 21 診目

本人入眠中だが、鍼灸治療施行

☆治療部位

〈毫鍼〉右上巨虚

〈腧鍼〉労宮、湧泉、腹部

レスキュー使用：2回

11月8日

14：00 排便ないが排ガスあり。

17：30 鍼灸治療 22 診目

終始無言。左肩後面が痛む。それ以外はない。

脈診：腎無力

☆治療部位

〈腧鍼〉労宮

〈円皮鍼〉左腕骨、左肺兪

18：00～11月9日外泊

レスキュー使用：3回

11月10日

10：00 検温前にトイレに行かれており、自然排便あり。

レスキュー使用：2回

11月11日

17：00 妻から少し眠そうな姿が多くなった印象があつた

レスキュー使用：1回

11月12日

14：00 左上肢～手背と両下肢浮腫

18：00 鍼灸治療 23 診目

声かけにて覚醒するが、すぐに入眠される。

☆治療部位

〈腧鍼〉腹部

〈円皮鍼〉右太溪

レスキュー使用：3回

11月13日

12：30 昼食：主食4割、副食2割

16：00 排便あり

18：00 鍼灸治療 24 診目

【妻】排便ありました。結構な量でした。

脈診：肝弦、腎無力

触診：腹部ソフト

☆治療部位

〈腧鍼〉労宮

〈円皮鍼〉右外関

17:30 今日は調子良かったみたいです

レスキュー使用:2回

11月14日

17:30 鍼灸治療 25 診目

発語なく、入眠中

脈診:75回/分、脾滑、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>足三里、右膝関

<円皮鍼>太溪、左液門、左外魚際

レスキュー使用:2回

11月15日

15:00 起きて何かする動作はない。

16:30 眠いため、鍼灸治療拒否

レスキュー使用:3回

11月16日 外泊

11月17日

21:00 血尿あり

11月18日

21:30 臥床しながら、ゴソゴソ動かれているが危険行動はない。

レスキュー使用:2回

11月19日

16:00 寝ている時間が多く活気がない

17:00 鍼灸治療 26 診目

声かけするも無言

脈診:弦、細

触診:左手・下腿浮腫。

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左復溜

<鍹鍼>百会、神庭

<円皮鍼>右外関、右後溪

レスキュー使用:3回

11月20日

17:30 鍼灸治療 27 診目

左腕は包帯、右手は点滴のため脈診とれない。

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、三陰交、太溪

レスキュー使用:1回

11月21日 退院

11月22日 再入院

11月25日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
評価なし
- 患者コメント
前回から引き続き、左肩痛には「OK」とすることはあるが、せん妄による行動は鍼灸治療中には見られなかった。
- 家族コメント
鍼灸治療を受けることを凄く楽しみにしている。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
特記なし

【総括】

本症例はせん妄があり、スタッフに暴力やPCマウスを引きちぎるなどの異常行動があるとのことだったが、鍼灸治療時には一切認められなかった。異常行動が夜間に多いということから、18時頃に施術時間を変更するも、異常行動を見かけることはなかった。異常行動の評価も難しいため、鍼灸治療の効果があったとはいえない。そのため、評価は不明とした。

【患者】73歳、男性

【既往歴】特記なし

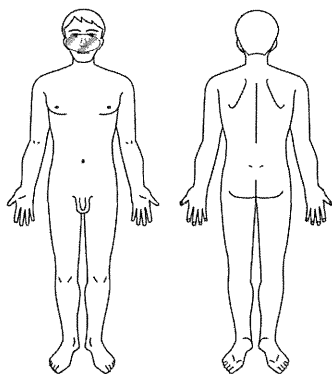
【病態】胃癌 (Stage IV)

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X年9月～術前化学療法入院。大きな副作用なく退院する。(8日間、CDDP) TS-1服用終了の21日目に外来受診。倦怠感が強く、食事は何とか食べられている。下痢は3回/日あるときも。

化学療法副作用と思われる、腎機能も悪化しており、経口摂取困難であるため、入院の上、補液を行う。ある程度、体力が戻ってきたため、化学療法再開。しかし、副作用である口内炎が出現。休薬し、回復を待つ。服薬効果により、痛みは治まりつつあるが、口内炎の早期回復を目的に鍼灸治療併用となった。



【服薬状況】

デキサメタゾン

【鍼灸治療目的】

口内炎に対して鍼灸治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

足陽明・厥陰経に熱感あり。脈診：肝弦。

口内炎箇所は口を開けられないことから確認はとれなかったが、唇にただれがあるのは確認が取れた。

【弁証】胃熱

【鍼灸介入期間】9日間

【鍼灸治療回数】4回/週、6回

【転帰】口内炎に対しての治療を終了

【鍼灸治療最終日～転帰】引き続き治療

【評価】NRSにて評価をとっていたため、NRSを採用した。

【鍼灸治療最終評価】

1)口内炎：不明

【治療経過】

9月27日 数日前から体調が悪かった。2日ほど食事取れていない。
本日から吐き気、動悸、腹痛、下痢なく、内服できている。
火曜から調子わるくエンシユア 500ml/日程度。

11:30 口内炎が口全体にできて痛くて食べれなかった。サンドイッチを2~3口食べたらず食べれんようになる。うがいは食事前後にしてし、オーラルバランスを自分で買って塗ってる。お腹は痛い時あるけど、薬は使わなかった。昨日から下痢便10回/日。左季肋部痛が持続している。しかし、オキシコドン塩酸塩水和物散は使用せず。

9月28日

9:30 鼻の中が腫れて乾燥するから薬が欲しい。

19:00 口が痛いし、ネバネバかなわんわ。味噌汁はのむ。後は無理やな。

レスキュー使用：0回

9月29日

9:30 口も目も乾燥する。口内炎が痛くて、ご飯が食べられない。口も開かない。

11:00 今日はちょっとひどいな。イタタタ…。

軽度左季肋部 NRS=2。腸蠕動亢進、腸蠕動痛の訴えあり。
黒色水様便頻回。口唇、舌唇、口内炎著明。口唇は表皮剥落あり。疼痛に伴い、開口難しいとの発言があるが、会話に支障はない。

21:00 お腹はすいているのに、口が痛くて食べられない。

レスキュー使用：0回

9月30日

13:00 乾燥するで、その上にウェットティッシュあてて、マスクしとんのやけど、またうがいする時に血が出るんや。そのままマスクしたら乾燥するし、良い方法ないか考えるんや。左季肋部痛 NRS=2。食欲あるも、痛みが強く出血もあり、少量しか食べれないと。

レスキュー使用：0回

10月1日

10:00 お腹の左上のところは痛くないときもある。今はNRS=2くらい。口は痛い。

13:30 食事終わった。味噌汁はお椀が口に当たって痛い。

10月2日

14:30 朝食は2~3時間かけて、お茶コップ1杯、味噌汁1杯、昼食は3時間かけてヤクルト1本、エンシユア吸い込み1/2摂取したところで、これからお茶と味噌汁飲むところや。

10月3日

13:00 痛いで。これは痰やないんや。口腔内、口唇の痛み強く、頻回に含嗽されている。

10月4日

11:30 口はひどいな。TS-1+CDDP 施行後、口内炎あり、経口不良

→腹水

10月5日 口内炎の痛み強いため、生理食塩水で含嗽行う。口内炎除痛のため、毎食前オキシコドン塩酸塩水和物散内服行う。

16:00 変わらんかった。痛いもんは痛い。塩水はよかった。

10月6日

14:30 痰が期連。口はちょっと開くようになったんや。けどゼリーは無理やな。

20:00 味噌汁だけでよい。ヤクルトは吸い込みに入れてくれたら飲もうかな。痛くて、話すのも億劫になる。

10月7日

14:30 口が痛い。薬が入ったやつでうがいしている。口唇のただれ著明であり。倦怠感あり。日中入眠している事多い。

10月8日

16:00 口腔ケア。食事を必死で摂取してもらうことはない。口腔粘膜が悪化しているため、胃粘膜も同様の症状を起し、下痢を起こしている。TS-1 終了2週間で改善してくる予定のため、そろそろ改善のころ。

14:30 変わらんで。

10月9日

14:30 痛いしな。痰はきれないし。ずらずら出てくるし、目もひつつくしな。口腔内汚染はひどくなく、右上顎に、左上唇裏に潰瘍あり。

10月10日

16:30 現在、疼痛のため菌磨きに対して抵抗あり。症状が軽減してきたりしたら、スポンジで行う。

18:00 鍼灸治療1診目

味噌汁は食べれてるんや。ここんところが痛くて、口をあけれんのか。唾液も粘っている。

痛み：VAS=32mm

☆治療部位

<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

10月11日

14:30 味噌汁は全部飲んだ。

15:00 プリン食べてもええか？

15:30 痛いんは変わらない。口が渴くと唇が張り付いてしゃべりにくいんや。歯石あり。スポンジブラシで磨いてもらうよう促すも、歯肉に触れると痛みあると。

16:00 鍼灸治療2診目

変わらんな。痛いんは、薬塗ったところだけや。口内炎は痛くない。鍼は痛い事なかった。

脈診：肝弦、腎浮滑

痛み：VAS=28mm

☆治療部位

<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

10月12日

7:00 準夜帯で出血あり、現在はなし。唾液の流出が以前ほどはない。

10月13日

14:30 口唇からの出血なし。

右上の粘膜部にできていた潰瘍は小さくなっている。

14:40 ゼリーはスルッと入ったわ。プリンも食べようかと思ってるんやけど、少し大きい奴やから食べれんな。

10月14日

12:30 もとから口を嚙んでよく口内炎になっていたから、また嚙まんようにしないと…。口腔内疼痛軽減。

10月15日

8:00 疼痛の訴えなし。口唇の痂皮なく、出血なし。

17:30 鍼灸治療3診目

上は綺麗になったやろ？後は舌唇の真ん中から右側のところやけど、突然話しかけられたりして、口あけると傷が開くからな。看護師さんが来ても口きかん時もある。しゃーないんや。酷くなったらかなん。

脈診：90回/分、脾滑、肝腎微弦

☆治療部位

<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

20:00 口はだいぶ開くようになった。

10月16日

16:30 鍼灸治療4診目

唇は湿ってる時は痛くない。乾いたら痛い。

痛み：NRS=2

☆治療部位

<鍍鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

17:00 ご飯がネチャツとしてて、飲み込みにくかった。前は唇が痛かったけど、そのまま飲めた。

10月17日

11:30 口内炎改善とともに食事摂取できている。

15:00 鍼灸治療5診目

痛みない。おやつも食べた。全体の1/4がおかしい気がする。唾液はネバつとした時とそうでない時がでてきた。

痛み：NRS=0

☆治療部位

〈鍍鍼〉行間、内庭、外内庭、俠溪

〈円皮鍼〉行間、内庭、外内庭、俠溪

10月18日

15:30 鍼灸治療6診目

痛い事はない。唇と指の皮がはがれが気になる様子。

脈診：肝弦、細、腎無力。

☆治療部位

〈円皮鍼〉行間、内庭、外内庭、俠溪

10月19日

12:30 5分粥と味噌汁とお茶とフルーツ全量摂取可能。

10月20日

19:00 下痢は治まったけど、おならが出ない。

10月21日

20:30 調子良いですよ。

10月22日

15:30 潤って見えるけど唇は熱をもっていてピリピリする。

17:00 口内炎の痛みが消失し、口内炎に対しての治療を終了。

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価

鍼灸治療介入前 NRS=2 であった痛みが NRS=0 となった。

- 患者コメント

2診目以降、変わらんなあ。だいぶ口も開けるようになった。

- 家族コメント

特記なし

- 医師・看護師・医療スタッフの印象

特記なし

【総括】

本症例は口内炎に対して鍼灸治療介入したが、介入した時点で回復時期に入っていたため、鍼灸治療効果があったかどうかは不明である。しかし、治療開始してから痛みが悪化することはなかったため、予防的に作用していたのではないかと考える。

20130021 (NO. 71)

【患者】64歳、男性

【既往歴】C型肝炎

【病態】膵癌 (T4, M0)

【ターミナル期】ターミナル中期

【現病歴】

X年6月中旬より、上下腹部痛あり。

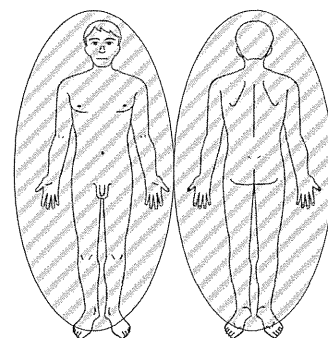
腹部CTにより8月には肝右葉中心多発性15mm大腫瘍。その後の検査から膵癌、多発性肝転移性腫瘍と疑いがあり当院に受診に至った。

胸部CTにより膵体部～膵尾部までの膵癌と診断。内部一部壊死性変化あり。脾動脈閉塞側副血行路発達。肝内多発転移性、膵癌は最大10cmあり、転移の可能性があり手術不適と診断した。

【服薬状況】

オキシコドン5mg、オキシコドン塩

酸塩水和物(散)2.5mg



【鍼灸治療目的】

全身倦怠感に対し、鍼灸治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

脈診：脾・腎弦、肝無力、舌診：淡白、胖大、嫩舌、触診：足背浮腫

【弁証】腎気虚、肝胃不和

【鍼灸介入期間】4日間

【鍼灸治療回数】4回/週、4回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】NRSにて評価をとっていたため、NRSを採用した。また患者コメント、医師・看護師による印象評価を総合し、診断した。

【鍼灸治療最終評価】

1) 全身倦怠感：有効

【治療経過】

10月11日

23:30 マッサージは気持ちいい。ムカつきはずっとではないです。

レスキュー使用：1回

10月12日

12:30 お腹が張ってるし、えらいんはどうにもならないんです。
22:00 癌の痛みは今は大丈夫ですが、だるさがね。夜あまり眠れてない…

レスキュー使用：3回

10月13日

7:30 だるさがとれない。背中が痛い。

レスキュー使用：2回

10月14日

10:00 吐きそう、気持ち悪い。吐き気止めください。

レスキュー使用：3回

10月15日

10:30 吐き気と言うよりお腹はって浣腸お願いします。

17:30 鍼灸治療1診目

全身だるい (NRS=9)

脈診：脾・腎弦、肝無力

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：足背浮腫

☆治療部位

<毫鍼>左公孫、束骨・京骨の間、太溪、後溪

<鍡鍼>腹部、肩背部

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会

レスキュー使用：7回

10月16日

16:30 鍼灸治療2診目

昨日より倦怠感マシだけど (NRS=) 9だな。肩もこる、首の横と後ろ。

脈診：腎・肝微弦、脾滑。左湧泉硬結

☆治療部位

<毫鍼>後溪、右外関、交信、左束骨・京骨の間、右公孫、右内通谷

<円皮鍼>左太溪、右内庭、右外内庭、右地五会

レスキュー使用：4回

10月17日

10:30 (よく眠れましたか?) 今までで一番休めた感じがします。だるいのでさすってもらってました。

16:30 鍼灸治療3診目

…あ、鍼お願いします。

NRSで症状の強さを確認するが、「わからない」と。

脈診：脾弦、90回/分

☆治療部位

<毫鍼>右太衝、右公孫、左交信、右外関、左手三里

<円皮鍼>右外関、後溪、左手三里

18:00 オキシコドン 5mg→10mgに増量、
オキシコドン塩酸塩水和物(散) 2.5mg 処方

レスキュー使用：3回

10月18日

15:00 しんどい。体に力が入らん。一番これがかなん。情けない。

16:30 鍼灸治療4診目

あ、鍼ですか? ありがとう。だるい感じは (NRS=) 8。

鍼灸治療中入眠する。

脈診：滑、93回/分

☆治療部位

<毫鍼>右行間、右足三里、右三陰交、太溪

<円皮鍼>後溪、右外関

17:30 突然キーンとなってイライラする

レスキュー使用：2回

10月19日

15:00 【妻】起きると柵や自分の腕を叩いたりしています。

レスキュー使用：3回

10月20日

7:30 しんどそうです。眠らせてください。ドルカム開始

レスキュー使用：4回 (0:00~8:00)

10月22日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS等による評価
NRS=9であったものがNRS=8とわずかではあるが低下が認められた。
- 患者コメント
2診目後：「今までで、一番休めた」
- 家族コメント
死前期には身の置き場なく、自身を叩く行為がみられた
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
特記なし

【総括】

本症例の病態進行が早く、患者自身が受け入れる間もなく入院に至った事に対し、強いストレスを感じていた。そのため、状態悪化に伴う全身倦怠感に対して鍼灸治療を希望されたため、施行した。結果、NRSの変化では大きく変化は認められなかったが、介入前後で比較した結果、睡眠時間が増えていることから効果があったと考える。

【患者】73歳、男性

【既往歴】アルコール性肝硬変、
門脈血栓症（門脈腫瘍栓疑い）

【病態】肝細胞癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X-3年5月、吐血があり、初診を受ける。静脈瘤はあったが、それによる出血ではなかった。入院時にて肝硬変（liver cirrhosis）と肝細胞癌（hepatocellular carcinoma）を指摘された。

X-1年2月に肝動脈化学塞栓術（TACE）を施行。6月アンギオを行う。肝細胞癌は胆嚢動脈が関わっているため治療不可能。6～7月、10月、X年1月にエタノール注入療法（PEIT）を行うも効果乏しい。

X年3月、胆嚢動脈がfeederのため、TACEは一部のみ行う。5月、CTで肝細胞癌の拡大が認められたため、6月よりネクサパール開始する。しかし、倦怠感が強いいため、徐々に減量する。7月末、門脈血栓（おそらく一部は腫瘍栓）を認めたため、一時的に入院に至った。9月中旬に高熱、食欲不振もあり、入院に至った。

【服薬状況】

フェンタニルクエン酸塩

【鍼灸治療目的】

肩背部の痛みに対して依頼される。

【東洋医学的所見】

脈診：75回/分、脾・腎弦。触診：右内関緊張圧痛、右期門緊張圧痛、右章門圧痛、右太衝緊張圧痛、左交信緊張。るいそう。声は小さい。神経質なところもある。爪白。軽度足背浮腫。

【弁証】肝血虚、腎気虚

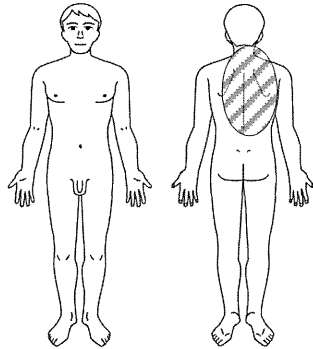
【鍼灸介入期間】10日間

【鍼灸治療回数】4回/週、7回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】1日間

【評価】評価の説明するも理解が得られないため、患者コメントおよび医師・看護師による印象評価にて診断した。



【鍼灸治療最終評価】

1) 肩背部痛：著効

【治療経過】

10月22日

17:00 鍼灸治療1診目

声がもっと出ようになりたい。ケンビキが痛い。

脈診：75回/分、脾・腎弦

触診：右内関緊張圧痛、右期門緊張圧痛、右章門圧痛、右太衝緊張圧痛、左交信緊張

☆治療部位

<毫鍼>右内関、左太衝、左交信、右期門、右章門、後溪

<鍔鍼>肩背部

18:00 鍼灸してもらったし、少し楽になった気がする

10月23日

11:00 フェントステープ1mg開始。

17:30 鍼灸治療2診目

ケンビキが気になる。横になっていると腰が痛い。

脈診：脾滑、60回/分

☆治療部位

<毫鍼>後溪、交信

<鍔鍼>肩背部

<円皮鍼>左肺俞、左厥陰俞、左胃俞、後溪

20:30 今日は鍼してもらったから、楽

10月24日

15:00 痛みは少しマシになっている。今の一番ストレスは声が出ないことや

16:30 鍼灸治療3診目

楽です。痛い事はない。今日は声が出ないから。

脈診：脾滑、腎微弦・無力

触診：右公孫緊張、足背浮腫（R<L）

☆治療部位

<毫鍼>左太衝、左陷谷、左外陷谷、左地五会、復溜、右公孫

<円皮鍼>太溪、左陷谷、左外陷谷、左地五会

10月25日

17:00 鍼灸治療4診目

背中の中の痛いのはない。右腕がかゆかゆやった。

脈診：78回/分、弦

舌診：紅舌、舌中剥落、舌尖紅

☆治療部位

<毫鍼>左太溪、右公孫、行間、右膝関

<e-Q>太溪×5回

<円皮鍼>左肺俞

<鍍鍼>肩背部

10月26日

16:00 鍼してもらってから、少し楽になった感じがする!

10月27日

17:30 寂しいって思うこともあるんや

10月28日

11:00 口の中が渴いてしょうがない。何か飲むと咽てしまうし、息が苦しい

10月29日

11:00 黄疸著明になる

17:00 鍼灸治療5診目

お腹スッキリしないから薬飲んだ14時くらい。呼吸もえらい。鼻がつまった感じがする。声はあかんって。もう治らんって言われたんや。

脈診:肝滑、腎微弦

触診:胸脇苦満、左足三里緊張圧痛、両下腿浮腫

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、右三陰交

<鍍鍼>腹部、腎経、四白

<円皮鍼>右外関

10月30日

4:30 むれんわ…

11:30 状態悪く、個室に移動

16:00 鍼灸治療6診目

【本人】あ…【妻】鍼してもらおう?やめる?

【本人】…する

脈診:数、弦、肝・腎無力

触診:下腿浮腫軽快

※反応悪いが返答はされる。

☆治療部位

<鍍鍼>腎経、太衝、左公孫、中府

22:30 【妻】孫も会いに来てくれて、ハイタッチしてね。

主人も笑顔やったんや

10月31日

14:00 足が痛い。こんなに痛いなら死んでしまいたい。

少々興奮気味。

15:00 鍼灸はまだか?約束しとったんや。いつも足にしてくれるんや。アレやってもらったら気持ちがいいんや。病気が治る気がするんや。表情穏やかで生き生きしている。

15:30 鍼灸治療7診目

昨日は色々考えて眠れなかった

脈診:虚、腎無力、細、90回/分

☆治療部位

<鍍鍼>太溪、劳宮

<円皮鍼>太溪、左陷谷、左外陷谷、左地五会、左内関

11月1日

19:00 【妻】息してますよね?さっきまでゴソゴソしてた。

明日また来るねって娘が言ったところなんです。

逝去

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価
使用せず。

● 患者コメント

1診目後より「鍼してもらったら楽」というコメントあり。

7診目:「鍼してもらったら病気が治る気がするんや」

● 家族コメント

特記なし

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

鍼の話をした後、表情穏やかで生き生きしている。

【総括】

本症例は、肩甲間部痛などその日の訴えに対して治療を行った。患者コメントからも、鍼灸治療を受けていると気持ちいいと言われ、どんなに状態が悪くなくても鍼灸治療を希望された。

これらからも、肩甲間部痛に対しては著効と診断した。また5診目では、不安を語られ、精神的な支えとなりえる可能性があったと考える。

20130023 (NO. 73)

【患者】45歳、男性

【既往歴】急性腎不全、脳転移、肝転移、せん妄

【病態】肺癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

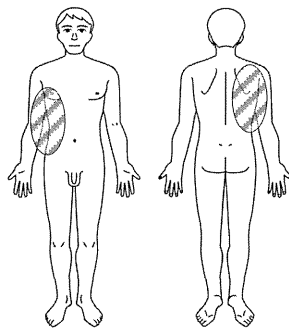
【現病歴】

X-1年8月頃から体重が認められる。疲労感、咳嗽、右前胸部～正中部に鈍痛あり。

X年3月4日のレントゲン所見から、右肺尖部腫瘍を認めた。頸部～下腹部CT。右肺上葉に径10cm大の肺癌を確認、また内部壊死性変化もあり、左肺門リンパ、縦隔リンパにも転移がある。

右胸水・腹水あり。

頭部CTから大脳半球に白質病変を認め、造影結節、浮腫性変化軽度あり。慢性虚血性変化。



【服薬状況】

ハイペン→ロキソニン3錠

リンデロン→MS コンチン10mg

×2錠

リリカカプセル25mg、オプソ5mg→10mg

【鍼灸治療目的】

イライラし、スタッフに声を荒げることもあったためストレス緩和と、右肩～脇腹にかけての痛みに対し、鍼灸治療依頼された。

【東洋医学的所見】

声かけするも、「ああ」「うん」のみ。イライラした様子。脈診：96回/分、洪、（左側臥位のため、脈診のみ）触診：右外関緊張圧痛、右後溪～腕骨深部緊張、右胆経浮腫。右臨泣圧痛。

【弁証】肝腎陰虚、（心陰虚）

【鍼灸介入期間】17日間

【鍼灸治療回数】4回/週、10回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】2日間

【評価】評価説明するも理解が得られないため、患者コメントおよび医師・看護師による印象評価にて診断した。

【鍼灸治療最終評価】

1) 右胸脇部痛：不明

2) 精神安定：不明

【治療経過】

10月29日

2:30 腎機能改善し、疼痛自覚するようになってから、レスキュー使用回数増加

17:30 右脇腹がギューっと痛い。

レスキュー使用回数：

オキシコドン塩酸塩水和物散 2.5mg×6回

オキシコドン塩酸塩水和物注1ml 早送り×9回

10月30日

15:30 痛みが強く、レスキュー使用。回数増加。

16:00 NRS=7や。ちょっと楽になったらNRS=5くらい。

16:30 鍼灸治療1診目

脈診：96回/分、洪（左側臥位のため、脈診のみ）

触診：右外関緊張圧痛、右後溪～腕骨深部緊張、右胆経浮腫。右臨泣圧痛。

☆治療部位

<円皮鍼>右外関、右腕骨、右臨泣、右内通谷

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注1.0ml×7回、1.5ml×6回

10月31日

8:00 4時にレスキュー使ってゆっくり眠れた。

15:00 鍼灸治療2診目

痛い。そこ痛い。腹部接触鍼の際、「変な感じ」と。

脈診：虚、脾洪、99回/分→治療後：滑、90回/分

触診：右足三里緊張、右太溪深部緊張・圧痛、右液門圧痛、左上巨虚硬結・圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左上巨虚、右太溪

<鍢鍼>右液門、右臨泣、腹部

<円皮鍼>右不容、右外関、太溪、右臨泣

19:30 触ったら痛い。ビリビリした感じする。

【妻】今朝よりマシみたいです。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注1.0ml×19回、2ml×2回

11月1日

3:30 気張ったで、痛くなったかな？

NRS=7～8。ポータブルトイレに排便少量あり。

16:00 左手尺側にしびれあり

18:30 たくさん食べられない。痛みの薬はできれば使いたくない。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 2.0ml×12回

11月2日

4:30 1:00~4:30までに4回レスキュー使用。どっこも痛い。
全身痛い。どこって事はない。

13:00 オキシコドン塩酸塩水和物注 1ml→1.5ml、
制限 40mg→60mg/日に増量。

23:00 嫁も娘もいないと思っただけで痛みが増す。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml×18回 (予防的1回)

11月3日

14:30 おしっこしたい感じないで。浮腫んでるわ。特に右足が重い感じ。

22:30 しゃっくり出始めた。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml×15回 (予防的1回)

11月4日

9:30 夜間、特に多弁になる。意識状態もやや悪化。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml×6回 (予防的3回)

11月5日

12:30 痛みは痛くて痛くて我慢できないほどではないです。

16:30 鍼灸治療 3診目

今日は良いわ。本人が拒否されたため、労宮刺激のみ行う

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml×18回

11月6日

8:30 今はNRS=8だね。痛いからね。

9:00 オキシコドン塩酸塩水和物注 60mg→100mg/日に増量。

16:30 鍼灸治療 4診目

左手のしびれなし。しゃっくりがゲップに変わる。

脈診：腎無力、肝弦

☆治療部位

<毫鍼>太溪、足三里

<円皮鍼>八風穴

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml×23回 (予防的1回)

11月7日

11:30 NRS=8。オキシコドン塩酸塩水和物注 100mg/日に増量するも回数変化なし。

17:30 鍼灸治療 5診目

膝下からだるい痛みがある。

脈診：滑、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚

<鍬鍼>労宮

<円皮鍼>行間、右侠溪、左神門、右腕骨

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml×17回 (予防的1回)

11月8日

11:30 昼夜逆転傾向。辻褄が合わない。言動があやしく、点滴の針を自己抜去してしまう。

16:30 鍼灸治療 6診目

腹部接触鍼していると「お腹の右側は不思議な感覚やな」と笑いながら話される。

脈診：肝弦、腎無力

触診：右肺俞軟弱陥凹、胸脇苦満 (R>L)

☆治療部位

<鍬鍼>右太溪、右湧泉、右肺俞、労宮、腹部

<円皮鍼>右肺俞、右臨泣、右束骨と京骨の間

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml×16回 (予防的3回)

11月9日

5:30 疼痛の訴えあるが、動作は早い。(トイレ時など)

21:30 1時間前後でレスキュー使用している。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml×12回 (予防的1回)

11月10日

22:00 オキシコドン塩酸塩水和物 100mg→130mg/日に増量

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0ml×17回、1.3ml×5回

11月11日

9:00 お腹っていうか…胸っていうか…

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg×13回 (予防的1回)

11月12日

8:30 倦怠感著明、痛みはNRS=6。レスキューの効果がある時とない時がある。

16:30 鍼灸治療 7診目

看護師により排便あり。時間をずらして訪室する。呼吸苦みられるが、レスキュー使用后、訴えず。どの辺が痛かつ

たのかと聞いても、覚えていないと。

脈診：滑。下腿浮腫

☆治療部位

〈毫鍼〉右足三里、右臨泣

〈鍡鍼〉右腎経、労宮

〈円皮鍼〉右行間、右侠溪、右外関

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0ml×13回

11月13日

18:00 鍼灸治療 8 診目

排便後、テンション高め。うつぶせのため脈診×。

触診：太溪軟弱陥凹

☆治療部位

〈鍡鍼〉八風穴、足爪甲根部、太溪

〈円皮鍼〉八風穴、右腕骨、右魚際、右列缺

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg×8回

11月14日

16:30 鍼灸治療 9 診目

不可解な発言あるも家族の話は聞いている。鍼灸治療中、ウトウトと眠られる。

脈診：脾滑、腎無力。足背浮腫

触診：太溪軟弱、三陰交深部緊張硬結、左神門軟弱、左内関緊張、百会陥凹、右肺俞軟弱。

☆治療部位

〈毫鍼〉右三陰交、行間

〈鍡鍼〉太溪、右公孫、左内関、左神門、右肺俞、Th5・6・7 俠脊穴、百会

〈円皮鍼〉右八風穴、右肺俞

22:30 本日、排便-3 日目

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg×14回（予防的 1 回）

11月15日

16:00 鍼灸治療 10 診目

痛いというか、苦しいというか…

脈診：腎無力、肺弦

☆治療部位

〈毫鍼〉右八風穴

〈鍡鍼〉右太溪、右肺俞、肩甲間部

〈円皮鍼〉右太溪、列缺

17:30 呼吸苦に対してモルヒネを使用

レスキュー使用：オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg×12回

11月16日

14:00 オキシコドン塩酸塩水和物注 130mg→150mg/日 UP

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg×24回（予防的 1 回）

11月17日 逝去

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

VAS、NRS 評価なし

● 患者コメント

特記なし

● 家族コメント

2 診目後「今朝よりマシのようです」

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

特記なし

【総括】

本症例は右胸脇部の痛みに対して鍼灸治療を介入した。しかし、せん妄があり、言動に安定性がない。

また、投薬量も増量されていたため、鍼灸の治療効果があったかどうかは不明である。

【患者】66歳、女性

【既往歴】卵巣癌術後（不完全手術）

【病態】卵巣癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

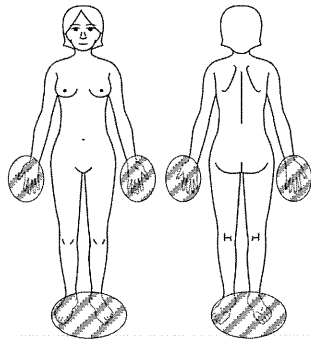
【現病歴】

X-1年9月中旬頃より、腹部膨満感を自覚した。10月に腹部エコーで腹水と肺種を指摘されたため、CTをおこない、卵巣腫瘍を認めた。

さらに精査で進行性卵巣癌、癌性腹膜炎と診断される。

腹水穿刺を目的に一時入院となった。

予後詳細は告知である。



【服薬状況】

ファモチジン、パンテチン、

センノシド A/B

モルヒネ塩酸塩水和物液

【鍼灸治療目的】

手足のしびれだけでなく、全身調整のため鍼灸治療介入となった。

【東洋医学的所見】

脈診：実、弦、数。四肢熱感。

*しびれの強さ

足底：VAS=87mm、足背：VAS=78mm、掌：VAS=78mm、手指の付け根：

VAS=75mm、指先：VAS=70mm

【弁証】腎虚、肝血虚

【鍼灸介入期間】23日間

【鍼灸治療回数】4回/週、9回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】2日間

【評価】しびれに対しVASにて評価。途中より状態悪化に伴いVAS、NRSが評価できなくなったため、患者コメントおよび、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、総合評価した。

【鍼灸治療最終評価】

1)しびれ：やや有効

2)全身状態：有効

【治療経過】

10月31日

11:00 動く息が切れるわ。お腹が張ってしんどい。

ご飯、茶碗蒸し5割程度。

16:00 鍼灸治療1診目

あんまり変わらんね。でも手は少し楽になって足の方が一番酷いかな？

脈診：実、弦、数。四肢熱感。

*しびれの強さ

足底：VAS=87mm→治療後：VAS=74mm

足背：VAS=78mm→治療後：VAS=74mm

掌：VAS=78mm→治療後：VAS=75mm

手指の付け根：VAS=75mm→治療後：VAS=75mm

指先：VAS=70mm→治療後：VAS=68mm

☆治療部位

<毫鍼>右三陰交、左復溜、左公孫、合谷、右太衝

<鍉鍼>手足爪甲根部

<円皮鍼>蠡溝

※VASでは変化があまり認められないが、「ビリビリした感じがマイルドに」とコメントあり。

11月5日

16:00 お腹が張ってしんどい、痛い。ご飯が食べられないを訴え、来院。癌性腹膜炎の状態ですと説明。

11月6日

10:00 心窩部あたりが痛いんや。

ロキソプロフェンNa飲んでも変わらない。

12:00 腹水穿刺。血性2400ml破棄。心窩部痛に対してオプソ処方

18:00 鍼灸治療2診目

昨日は鳩尾が何とも言えないくらい痛かった。

お腹が重たい感じにはっている。

脈診：滑、117回/分

触診：下腿浮腫、冷え。太溪表面緊張。

☆治療部位

<毫鍼>太溪

<鍉鍼>腹部接触鍼

<円皮鍼>左行間、左侠溪

11月7日

14:00 腹水抜いてからマシになりました。1週間前は寿司10皿位食べました。アイスクリームしか食べれない。

17:30 鍼灸治療3診目

張りはマシです。貧血起こしている感じでしんどいです。

脈診：脾微弦

足底：VAS=100mm、足背：VAS=100mm、掌：VAS=74mm、

手指付け根：VAS=80mm、指先：VAS=80mm

☆治療部位

<毫鍼>右太白、三陰交、右神門

11月8日

10:00 ガスがでないのが一番困る

10:30 便は少しずつ出ているけど、ガスはなかなか出ない。

11:00 余命11月末までであることを家人・本人に説明。

16:00 鍼灸治療4診目

余命を聞いた事で落ち込んでいる様子。鍼灸治療中「何か気持ちいいですね。何と言ったらいいんだろ。スーッとするといふか、気持ちいいです」

脈診：脾滑、腎無力

舌診：淡紅舌、薄白苔

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚

<鍹鍼>湧泉、労宮、胸脇部

※鍼灸治療後は腹部膨満感軽快。

11月9日 退院

11月12日

14:30 腹水穿刺2500ml。再入院

16:00 鍼灸治療5診目

本人は家に帰りたいと希望するも家人らは病院を希望。その間での板ばさみに悩まれている。足少陽経を撫でるのは分かるが、圧すると分からない。

脈診：洪、腎弦、87回/分

触診：手足冷えあり、腹部ソフト

☆治療部位

<鍹鍼>右太溪、右三陰交、湧泉、腹部接触鍼

21:00 腹水穿刺3200ml。フェントステープ1mg

11月13日

14:00 昼にガリガリくん3本食べた。ちょっと吐いたわ。

17:00 入眠中のため、鍼灸治療中止

11月14日

14:30 点滴のとき痛い〜お昼うどん美味しかった。何か眠いし、フェントスやめるわ

16:30 入眠中のため、鍼灸治療中止

11月15日

9:00 フェントステープ中止。レスキューをオプソ5mgに変更。

15:30 鍼灸治療中止

声かけで覚醒。「眠いので、今日はやめとく。今度にするわ。

わがまま言ってごめん」とのこと

11月16日

10:00 大丈夫、痛くない。眠たい。咳が出る。

11月17日 外泊

11月18日

8:00 「病院に戻るといふものの、起きてくれない」と娘から電話があり。

9:30 外泊から戻られる。昨日はずっと寝ていて心配していたんです。痛み止めは全然飲んでないです。

11月19日

6:00 トイレに行きたいけど、動けない。

10:00 目があかん。カーテン閉めて、まぶしい。

16:30 鍼灸治療6診目

…してって。

脈診：弦、細

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左復溜

<鍹鍼>百会、神庭

<円皮鍼>右外関、右後溪

20:30 黒色泥状便あり

23:00 暗紅色の嘔吐がガーグルベースの中に少量あり

11月20日

8:30 夜間嘔吐あり

11:30 腹水抜いてほしい。腹部膨満感あるも、張りは以前ほどではない。

16:30 鍼灸治療7診目

昨日より目が開けられるようになりました。本当によかったです。(お腹はどうでしたか?)鳩尾のところがしんどかった。

【治療後】

先生、今日しびれとか痛みの薬飲んでないんだけど、マシです。(触れている感覚ありますか?)ある。このまま、少しでも楽になったらいいのに。もう、かなん。でも昨日よりちょっとマシでよかった。

☆治療部位

<鍹鍼>胸脇部、太淵、尺沢、中府、百会、太溪

<円皮鍼>左中府、太溪

11月21日

9:00 寝れないとお腹がしんどい。痛くはない。自力でねるわ…。

17:00 鍼灸治療8診目

のどが…のどが渴いた。お茶ください